

一般社団法人 東北ニュービジネス協議会
＜TNB いわて支部交流会のご案内＞

医療機器として正式承認！
「片麻痺リハビリロボットで人と医療の架け橋になる」
株式会社東北医工 代表取締役 大関一陽氏

今回の TNB いわて支部交流会は、第 31 回東北ニュービジネス大賞制度において「奨励賞」を受賞された株式会社東北医工代表取締役 大関一陽氏にご講演頂きます。日本の脳卒中患者数 110 万人対し、リハビリに携わる作業療法士は 10 万人と患者数に比べ少なく、脳卒中による片麻痺症状のリハビリロボットは、世界を見回しても下肢(足と脚)向けは多いものの上肢(手と腕)は少ないことに着眼、手指に麻痺が残る脳卒中患者が機能回復できるリハビリテーションロボットの開発に至っています。2025 年 1 月には医療品医療機器総合機構(PMDA)より医療機器として正式承認され医療機関向けの販売が開始されます。今後の国内、そして大きなマーケットが期待できる世界への展開についてお話を頂きます。当日は、実機での体験も可能です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



記

1. 開催日 2025年 3月 4日(火) 15:00～19:00
(受付 14:30～)
①講演会 15:00～16:30
②会員交流会 17:00～19:00
2. 会場 ①講演会場 いわて県民情報交流センター「アイーナ」8階 803会議室
(岩手県盛岡市盛岡駅西通 1丁目7-1 ☎:019-606-1717)
②会員交流会 ビアベース「ベアレン盛岡駅前店」
(岩手県盛岡市盛岡駅前通8-11 ☎:019-601-7110)
3. 参加費 講演会のみ 無料、交流会費 一人5,000円

【講師プロフィール】 株式会社東北医工 代表取締役 大関一陽 氏

1962 年青森県上北郡横浜町生まれ。岩手大学工学部電子工学科を卒業後、株式会社アドテックシステムサイエンスに入社し、マイクロコンピューター関連製品のハードウェア開発に従事。2016 年に株式会社ピーアンドピーテクノロジーズの代表取締役に就任。2022 年 5 月に東北医工を設立し、テクノロジーで人と医療の架け橋になるを掲げ、「脳卒中リハビリロボット」を 11 年かけて開発を行う。岩手県や国から様々な補助金を受け試作を推進し、最新は NEDO の支援を受け量産試作となる 6 号機を開発した。そして 2025 年 1 月に医薬品医療機器総合機構(PMDA)から医療器承認され、今後医療機関向けへの販売拡大が期待されている。

TNB いわて支部交流会 参加申込書

TNB いわて支部事務局 行き ※どちらかに○で囲みください
企業名(法人会員のみ) / _____ (TNB 会員・非会員)

参加者名	役職	連絡先	講演会	交流会
			ご出席・ご欠席	ご出席・ご欠席
			ご出席・ご欠席	ご出席・ご欠席

■お申込み・お問い合わせ先 いわて支部事務局 北日本銀行 営業統括部 中村 尚司
FAX:019-629-9311 e-mail naoshi.nakamura.c5@kitagin.co.jp 締切:2月28日(金)
TEL:070-8848-5065 ※FAX の場合は、申込書は切取らないでこのまま送信してください。